



健やか絵本贈呈事業 (ブックスタート)

初めての絵本を贈呈

新生児に絵本を贈る「健やか絵本贈呈事業(ブックスタート)」が、今年度スタートしました。

絵本贈呈事業の第1号となったのは、4月に誕生した北栄・森下敏行さん・ゆかりさん夫妻の二男・航大(こうだい)ちゃん、4月30日に担当保健師から初めての絵本がプレゼントされました。

福祉保健課による新生児訪問の場で、絵本「ぼんぼんポコポコ」のほか、おすすめ絵本リスト、図書館の利用案内などが手渡され、さっそく親子で絵本を楽しんでいました。



遠足シーズン。訓子府小学校の遠足が5月17日、くんねっぶ保育園が23日、訓子府幼稚園が24日にそれぞれ行われました。

4月下旬から冬のような寒さが続いており、訓小の遠足はまずまずの天候に恵まれましたが、保育園や幼稚園の遠足はともに肌寒い日となりました。しかし、子どもたちは元気に出発し、目的地を徒歩やバスでめざしました。

目的地のレクリエーション公園や中央公園、北見農業試験場などでは、遊んだり、お弁当を食べるなど、子どもたちは、寒さを忘れて楽しい一日を過ごしていました。

くんねっぶ保育園



子どもたち
元気に
目的地へ

遠足。
楽しいなあ



ウォッチング



訓子府小学校



訓子府幼稚園

開拓記念日のついでで 町の発展を誓う

開拓記念日のついでが5月8日、居武士小学校校庭にある旗頌碑(せいしょうひ)前と中央公園内の開基百年記念碑前で開かれました。寒さの中、約80人の関係者が出席、両会場で黙とうが行われ、菊池町長が町の発展を願うあいさつを行いました。

旗頌碑前では、居小全児童も参加。児童を代表して児童会書記の佐藤良祐くんが「先人の築いた豊かな訓子府をより豊かにするためがんばります」と述べました。

続いて、中央公園に会場を移し、開拓から100年に当たる平成8年に高知県東津野村(現・津野町)から贈られた開基百年記念碑前で、全校仲よし会の田中駿汰会長が「開拓魂を忘れずに新しい訓子府をつくりまします」と誓いの言葉を述べました。

訓子府町は、明治30年5月8日に高知県の北光社移民団が現在の太谷地区に開拓に入ったことから、先人の労苦に感謝し、新たな発展を願い、毎年この時期についでを開催しています。

開基百年記念碑前



旗頌碑前



ウォッチング



温水プール

KAPPAオープン

子どもたちでにぎわう



温水プール「KAPPA」が4月29日オープンしました。

大勢の子どもたちが詰めかけ、流水プールなどで歓声を上げていました。また、例年より気温が低かったものの、5月6日まで大型連休中とあって、町内外から家族連れなど大勢の方が詰めかけていました。

子どもまつり・古本市を開催

あそびの広場など子どもたちでにぎわう
大型連休初日の4月27日、子どもまつりと古本市が公民館で開かれました。子どもまつりでは、マジックショーが行われたほか、くじびきやバルーンアートなどのあそびの広場、ネイルアートなど子どもたちは思う存分楽しみ、笑顔満開でした。また、4000冊が並べられた古本市も、子どもから大人まで大勢の人が詰めかけ、にぎわいました。

子どもまつり



古本市